

- ◎向日市民憲章◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
  - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
  - 1 働くよろこびと心のふれあいを大切にしましょう
  - 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
  - 1 明るいくらしと福祉のまちをきずきましょう



# 人生に定年はありません

## お年寄りの生きがいとは

いま、百人のうち九人が六十五歳以上のお年寄り——これが三十四年後の昭和九十年には十八人と二倍に増えると予測されています。

三十四年後に六十五歳になる人、つまりお年寄りの仲間入りをするのは、いま働き盛りの三十一歳。よく言われる高齢者問題というのは、なにもお年寄りだけの問題ではなく、若い人たちのやがて直面しなければならぬテーマであり、そして社会全体の課題でもあるのです。

同時に、わが国人口の高齢化は、諸外国に例を見ないテンポと規模で進むことも、あわせて考えておかなければならない問題です。

九月十五日は「敬老の日」また、この日から一週間は「老人福祉週間」です。

人生に定年なし——この機会に老人の生きがいについて考えてみましょう。

かけ足でやってくる高齢者社会 (人口高齢化の国際比較)  
(資料)総理府「高齢者問題の現状」

# 熟年——老いるのではなく熟すのです



## 「いつまでもお元気で」 米寿を祝って記念品を贈呈

八十八歳、おめでと。9月15日の敬老の日を前に、市では2日、ことし米寿を迎えられる二十三人のお年寄りに、記念品をプレゼントし、お祝いしました。

この日、午後1時から、民秋市長がお年寄りの家庭を一軒ずつ訪ずれ、「これからも健康に気をつけ、いつまでも元気に暮らしてください」と励まし、米寿記念品の毛布を手渡しました。

ことし米寿を迎えられる方は次のとおりです。

- ▽物集女町 安田安之助・久米源太郎・高橋つね
- ▽寺戸町 前川ヤス・小林ミチエ・橋本哲・廣田よね・黒中さと・増井幸・船越太郎・伊佐いゑ・山田巳之助
- ▽森本町 清水範一郎
- ▽鶏冠井町 西村をみ・福田徳三・星野ふみ
- ▽上植野町 安井全太郎・安井サク・民秋芳雄・大野タツ・羽田淳二
- ▽向日町 片山ヤス・平野千代 (順不同・敬称略)

## 「思いやり」が 生きがいを奪うことも

総理府が行った「高齢化問題に関する世論調査」によりますと、「老後はどのようなことを始めようか」に対する主な回答は、次のとき：21%

(1)体の自由がきかないとき  
30% (2)仕事をやめたとき  
23% (3)年金をもらいうらなうとき  
21%

## 人と話すことが 生きがい

お年寄りのやすらぎと生きがいの場として、昭和53年4月にオープンした老人福祉センター。各種サークル活動や教養講座、園遊会など多彩な催し物を行い、多くのお年寄りに利用されています。そこで、ここを利用されている方に、生きがいや健康法などについてちょっと聞いてみました。

松島たつ子さん (70歳)  
寺戸町東田中瀬



腹を立てないこと——これが健康にはいいんじゃないでしょうか。

それに人と話をする事です。

私は、老人福祉センターに来て、たくさんの方たちとしゃべっているのが一番楽しいです。また勉強にもなります。

前に足を折ったときにはたくさんの方がお見舞いに来

## ソフトボールが 一番の楽しみ

中笠豊蔵さん (72歳)  
向日町南山

てくださって、ほんとに感謝しました。

人とのつきあいは、とても楽しいものです。

私は、毎朝1時間ほどの散歩をかかさず、食事はな

# 9月21日～30日 秋の全国交通安全運動

## ちょっとした不注意 につけこむ睡魔



## ■バイク無料点検整備等を実施■

秋の全国交通安全運動に伴い、二輪車の交通事故防止の一環として、次のとおりバイク無料点検整備等を行います。どうぞお気軽にお越しください。

▷とき 9月22日(火) 午後2時～4時  
(雨天の場合、9月26日(土) 午前10時～12時)

▷ところ 競輪場内向日市消防本部南側  
※点検整備は無料です。

向日市・警察署・二輪普及協会向日町支部

秋の全国交通安全運動が、9月21日から30日までの10日間くりひろげられます。

この運動は、すべての者に交通安全思想を普及徹底し正しい交通ルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底を図ることを目的としています

本年は、交通安全対策を推進するに当たって、次の3点を運動の重点に置き、推進していきます。

- ◇歩行者、特に老人と子供の交通事故防止
- ◇自転車および二輪車の交通事故防止
- ◇無謀運転の追放と暴走族の追放